

# リオネット補聴器のあゆみ

西暦		
1944	(株)小林理研製作所 現「リオン(株)」創立	
1947	真空管方式の補聴器を試作	
1948	日本初のミニチュア管による携帯補聴器H-501を発売	
1948	国産集団補聴器H-541/542を発売	
1950	身体障害者福祉法施行、補聴器が補装具の指定を受ける	
1953	リオネットを商品名とした第1号機H-520を発売	
1956	トランジスタ補聴器H-530を発売	
1960	リオン(株)と社名を変更	
1960	国産初のメガネ型補聴器H-570を発売	
1962	補聴器にコンプレッション回路を搭載したH-538、H-539を発売	
1964	耳かけ型補聴器HA-07を発売	
1964	セラミック振動子を用いた人工中耳の特許を申請	
1967	世界で初めてのセラミックマイクロホンを用いたHA-13を発売	
1967	国産初のICを用いた補聴器HA-11ICを発売	
1967	幼児用軟質イヤモールドを開発	
1970	マスターオーディトリートレーナーを開発	
1973	音声処理方式(SSB方式)の補聴器を開発	
1975	通産省工業技術院の委託による人工中耳の開発始まる	
1979	無混信フラットループを開発	
1981	世界で初めて自動騒音抑制方式のポケット型HA-39ASを発売	
1982	世界で初めて自動騒音抑制方式の耳かけ型HB-69ASを開発	
1983	世界に先がけて重度・高度難聴用耳かけ型補聴器HB-72を発売	
1983	通産省工業技術院の委託による人工中耳の開発完了	
1984	国産初のオーダーメイド補聴器HI-02を発売	
1984	世界で初めての防水耳かけ型補聴器HB-35を発売	
1985	世界で初めてのソフトタイプオーダーメイド補聴器HI-15を発売	

西暦		
1987	世界で初めて自動騒音抑制方式の耳あな型HI-64ASを発売	
1987	世界で初めての高出力オーダーメイド補聴器HI-12を発売	
1989	国産初のタッチボリュームのオーダーメイド補聴器HI-80を発売	
1991	世界で初めてのデジタル補聴器HD-10を発売	
1992	人工中耳の製造が承認される	
1993	人工中耳が高度先進医療に指定される	
1994	世界初の空気電池が使える生活防水型補聴器HB-54を発売	
1995	超小型オーダーメイド補聴器CIC型補聴器HI-50Kを発売	
1996	世界で初めて電池の極性に関係なく動作するおまかせ回路搭載の耳かけ型補聴器HB-55Sを発売	
1998	周波数圧縮型デジタル補聴器HD-11を発売	
1998	超小型オーダーメイド(CIC)ノンニアプログラマブル補聴器HI-P1Kを発売	
1999	国内メーカーとして初めてオーダーメイドのフルデジタル補聴器HI-D1、HI-D2を発売	
2001	耳かけ型高度・重度対応フルデジタル補聴器HB-D3Pを発売	
2002	高度・重度対応のオーダーメイドフルデジタル補聴器HI-D7PVを発売	
2004	日本で初めてのシェル自動生産システム夢耳工房を開発	
2005	世界初の防水型オーダーメイド補聴器HI-G4WEを発売	
2006	中等度難聴までカバーする防水型オーダーメイド補聴器HI-G4WUを発売	
2007	オープンフィッティング対応のリオネットロコHB-L1を発売	
2008	リオネット補聴器の最高峰リオネットルークを発売	